

泉代表を交えた国政報告会を開催



参加者と意見交換

12月4日（土）、古賀ゆきひと参議院議員が福岡市内で国政報告会を開催しました。立憲民主党的新しい代表に選出された泉健太代表も加わり、参加者と意見交換をしました。

■新代表に泉健太衆議院議員を選出

枝野前代表の辞任を受けて行われた立憲民主党的代表選挙で、泉健太衆議院議員（47才・当選8回・京都3区）を選出。古賀ゆきひと議員は

推薦人として選挙活動の一端を担っていただけに、喜びもひとしおです。これからも党を前に進めていくため泉代表に積極的に協力していくことを表明しています。

■経験豊富で頼れるリーダー

泉代表は街頭に出て党の方向性や考え方を直接示すことを重視しています。その手始めに出席したのが、古賀ゆきひと議員の国政報告会でした。新代表の選出直後とあって関心も高く、多くの取材陣で会場が埋め尽くされました。

コロナ対策や福祉政策などの質問が参加者か

ら相次ぐなど、新しい態勢への期待の大きさがうかがえます。古賀ゆきひと議員は、「新しく党の顔になった泉代表は、若いながら経験豊富で頼れるリーダーです。立憲民主党はもちろん国全体を引っ張るのにふさわしいので、ぜひ期待してください」と語りました。

■今後に向けて

「当選から5年半が過ぎましたが、あっという間でした。やりたいことを成し遂げるため、もう少し時間を与えていただければ幸いです」とも古賀議員は述べました。

街頭演説で政策を訴える

コロナ禍ではありますが、できるだけ街頭に立って政策を訴えています。国会だけではなく、現地・現場を重視しているからです。

また、年末には福祉施設で餅つきに参加しました（表紙写真）。餅つきは、杵を持った人だけでは出来ません。材料を準備する人、合いの手を入れる人、熱い餅を丸める人…。多くの人が息を合わせる共同作業ですが、これは政治も同じ。皆様と協力して、餅のように愛される政策を作っていくます。



行政の秘密保護は適切か

古賀ゆきひと参議院議員は、情報監視審査会に所属しています。この審査会には、行政情報の特定秘密保護制度の運用が適切かどうかを監視する重要な役割があります。一般の委員会は公開で行われるのに対し、情報監視審査会には宣誓のうえで厳しい守秘義務が課されます。ともすると隠そうとする体質が行政に見られますので、国民の代表としてしっかりと審査していきます。



政治は餅つきだ！